

社会的処方とは？

～みんなで楽しく！気軽に！ゆるやかにつながろう！～

日時 5月31日(日)

13時30分～16時00分 (開場13時00分)

会場 鯨城ホール

中区栄一丁目23番13号
伏見ライフプラザ内5階

公共交通機関でお越しください



- ・地下鉄伏見駅6番出口より南へ徒歩7分
- ・地下鉄大須観音駅4番出口より北へ徒歩7分

入場無料

定員200名 (事前申込必要)

手話通訳、要約筆記あり

第1部

基調講演

川崎市立井田病院 腫瘍内科 部長
一般社団法人プラスケア代表理事

西 智弘氏



第2部

実践報告

ファシリテーター 西 智弘氏

のわ

のわ 代表

新見 永治氏

駄菓子屋

スナック
かくれんぼ

駄菓子屋 スナック
かくれんぼ 店主

横井 れい氏

YORUSANPO
夜さんぽ

Love Life Project
共同代表

角羽 康希氏

【申し込み】

期間：令和8年4月13日(月)～5月28日(木)

申し込みフォーム：<https://logoform.jp/form/mX9C/1366687>

主催

健康福祉局地域共生推進課



講師紹介

第1部

基調講演

川崎市立井田病院 腫瘍内科 部長
一般社団法人プラスケア代表理事

西 智弘氏

2005年北海道大学卒。室蘭日鋼記念病院で家庭医療を中心に初期研修後、2007年から川崎市立井田病院で総合内科／緩和ケアを研修。

その後2009年から栃木県立がんセンターにて腫瘍内科を研修。2012年から現職。現在は抗がん剤治療を中心に、緩和ケアチームや在宅診療にも関わる。また一方で、一般社団法人プラスケアを2017年に立ち上げ代表理事に就任。「暮らしの保健室」「社会的処方研究所」の運営を中心に、地域での活動に取り組む。

日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医。

著書に『だから、もう眠らせてほしい（晶文社）』『みんなの社会的処方（学芸出版社）』などがある。



第2部

実践報告

ファシリテーター 西 智弘氏



孤独・孤立に寄り添う光の妖精「ヒカリノ」

のわ

のわ 代表

新見 永治氏

44年前に美術画廊としてスタート。代表新見が1990年に不況只中のイギリスで美術家が街中や病院でアート活動を通じて社会の改善に取り組むのを見てアートの価値を再認識しました。以来地域に向けて誰もが集まれる場作りをするとともに、それにはアートの拡張が欠かせないと考え、音楽、演劇、飲食なども取り込み、活動を続けています。

駄菓子屋
スナック
かくれんぼ

駄菓子屋スナック
かくれんぼ 店主
横井 れい氏

毎週木曜日の午後、南区の内田橋商店街の空き店舗でかくれんぼする駄菓子屋です。大人と子ども、お互いの名前を知っている率が今より10パーセント上がったから、まちはきっとも〜とあったかくなる。子どもたちが信頼できる大人に出会えるまちの居場所を増やしていきたいと思っています。

YORUSANPO
夜さんぽ

Love Life Project
共同代表
角羽 康希氏

夜さんぽは、トークテーマに沿って自分のことを話しながら、一緒に歩く人の話を聞きながら、すっきりあたたかい気持ちになる夜を歩くイベントです。安心して想いを話すことができるようにルールを、自然に想いを話すことができるようにトークテーマを設けています。月に一度、名古屋栄の久屋大通公園で開催しています。